

## 基本目標1 社会参加と生きがいつくりの支援

基本施策	施策の方向
第1節 生きがいつくり、仲間づくりの促進	(1) 高齢者の多様な活動の支援 (2) 高齢者の集い・交流の場の充実 (3) 多様な学び場の提供
第2節 高齢者の社会参加の促進	(1) 高齢者ボランティアの活動促進 (2) シルバー人材センターの活動促進

### 第1節 生きがいつくり、仲間づくりの促進

健康で自立した生活を長く続けるためには、同じ趣味や目的を持つ仲間と生きがいを共有する機会を増やすことが大切と考えられます。

元気な高齢者の活発な交流や活動は、地域の活力を高める原動力にもなることから、人との交流や地域活動への参加を促進し、さまざまな取組により生きがいつくりを促進します。

#### 現状と課題

- 本市では、高齢者の学ぶ意欲の向上と仲間づくりを促進するために、各地域の公民館で「高齢者学級」、中央公民館で「高齢者大学」を開催しています。

また、「生き生き市役所出前講座」を通じて、市の取組に関する知識の普及を図っており、年間を通じて多くの方が受講しています。その中には高齢者福祉・介護保険制度や介護予防の普及を目的とした講座も含まれています。今後も高齢者の興味・関心を広げられるように多様な講座を提供していく必要があります。

#### ○高齢者学級

市内の各公民館が、各地区に在住している高齢者を対象に、毎年8回程度の講座を開催しています。

#### ○高齢者大学

桐生市教育委員会（中央公民館）が市内に在住又は在勤しているおおむね60歳以上の高齢者約250人を対象に、毎年歴史・文化などのさまざまな分野をテーマに、15回程度の講座を開催しています。

#### ○生き生き市役所出前講座

市民からの要望に応じて、市の職員が集会などに出向き、市の業務内容の説明や専門知識を活かした実習などの講座を行っています。

- 市内の各地域では、高齢者の仲間づくりや生きがいつくりを目的に、老人クラブが活動しており、市は、その活動費の助成などの支援を行っています。令和5年度(2023)におけるクラブの設置・入会状況は、単体会数106会、会員数3,790人となっていますが、会員数は年々減少し、会員の高齢化が進んでいます。

◆老人クラブの単体会数と会員数の推移

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
単体会数(会)	134	124	120	112	106
会員数(人)	5,305	4,855	4,614	4,138	3,790

- 市内の各地域では、集会所等を拠点に自治会、民生委員・児童委員、婦人会、老人クラブなどが主体となって「サロン」が開催されています。サロンは、地域の高齢者同士、高齢者と地域の人との交流の場として、開催する地区が徐々に増加しています。  
また、公民館等を拠点とした趣味サークルの活動も積極的に展開されています。

○サロン

市内のいくつかの地区において、自治会、民生委員、婦人会、老人クラブが主体となって、高齢者の交流の場として集会所等を拠点に開催されています。

- 市内には、高齢者の生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりの施設として、4つの長寿センター及び広沢老人憩の家、ふれあいホーム、新里福祉センターの計7施設が設置されています。これらの施設は、近年、施設の老朽化に伴い年々利用者が減少しています。

現存の全施設において築後20年以上が経過しており、最も古いふれあいホームについては築後約50年となっています。

このような中、適宜施設の統廃合や用途変更等を実施していく中で、地域の集い・通いの場、交流拠点としてその利活用を図っていくことが求められています。

◆長寿センター等の施設概要

施設名/所在地	建築年度	利用者数(人)		
		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
美原長寿センター/美原町5-47	1993	0	0	839
川内長寿センター/川内町5-398-1	1995	0	0	1,233
境野長寿センター/境野町3-1295-1	1996	0	0	1,292
東長寿センター/東1-8-41	1999	0	0	1,648
広沢老人憩の家/広沢町6-1103-1	1981	0	0	265
ふれあいホーム/天神町3-14-16	1971	0	0	693
新里福祉センター/新里町野397	1996	0	0	2,094

※令和2年度(2020)、令和3年度(2021)は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた実績となっています。

## 施策の方向

### (1) 高齢者の多様な活動の支援

老人クラブやサロンなど高齢者や地域住民による自主的な活動が活発に行われるよう支援を行います。

老人クラブの活動については、「アクティブシニア」と言われる若年会員等の加入促進を見据えながら、引き続き運営支援を行います。

### (2) 高齢者の集い・交流の場の充実

サロンなどの集いの場について、生活支援コーディネーターや地域包括支援センター、桐生市社会福祉協議会、桐生地域リハビリテーション広域支援センターと連携を図りながら、その活発な運営を支援する中で、適宜専門職の派遣等を行い、介護予防に資する「通いの場」としての機能充実に努めます。

長寿センター等については、施設の老朽化が進む中、適宜、統廃合や多角的活用を見据えた用途変更等を検討します。

### (3) 多様な学び場の提供

多様化する高齢者の興味・関心に応えられるよう魅力ある学習環境の提供に努めます。公民館で実施される高齢者学級をはじめ、市内の事業所等とも連携を図り、多様な学習内容、機会の提供に努めます。

また、高齢者が安心してスポーツを楽しめる環境の整備を図ります。

## 第2節 高齢者の社会参加の促進

高齢者が培ってきた豊かな経験や知識、技術などを地域社会で発揮していくことは、地域の活性化のみならず、高齢者の社会的孤立の解消や役割の保持等にもつながることから、高齢者が社会参加を通じて地域づくりに参画できるしくみの整備を推進します。

### 現状と課題

- 本市では、高齢者の地域貢献や介護予防などを促進するために、「高齢者ボランティアポイント事業」を実施しています。介護予防サポーターが運営する通いの場にもボランティアポイントの対象となる活動を拡充したことで、通いの場の活動促進を図っています。

I T化が進む中、幅広くボランティアポイントを活用できる仕組みを整備することが求められます。

#### ◆高齢者ボランティアポイント事業の登録者数の推移

	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
登録者数(人)	279	313	295	284	290

※従来の高齢者介護サポーター事業の充実を図り、令和元年度から高齢者ボランティアポイント事業として実施

#### ○高齢者ボランティアポイント事業

高齢者が特別養護老人ホーム等の施設や介護予防の普及啓発の場（介護予防教室等）などで行う自発的なサポーター活動に対して、個々の活動実績に応じて換金可能なボランティアポイントを付与することで、高齢者の社会参加、介護予防、地域貢献を奨励する事業です。

- 本市では、地域における介護予防の普及啓発活動の担い手を養成するために、平成18年度（2006）から「介護予防サポーター養成研修」を実施しています。

介護予防サポーターは、自らの介護予防に資する活動だけでなく、介護予防に関する知識を地域に普及する活動を行っています。サポーターの高齢化も進む中、若年層の養成を推進していくことが求められます。

#### ◆介護予防サポーターの養成人数の推移

	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
養成人数(人)	10	16	0	15	18

※令和2年度（2020）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた実績となっています。

○介護予防サポーター養成研修

地域で自主的に介護予防の活動をしたいと考えている人や市等が行う介護予防事業にボランティアとして参加したいと考えている人などを対象に介護予防に関する知識や技術を習得してもらうために市が行っている研修です。研修修了者は、介護予防サポーターに認定されます。

- 本市の「シルバー人材センター」は、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて設置されています。令和4年度（2022）末における会員数は507人で、就業延人数は49,137人（請負事業・派遣事業含む）でした。会員数、受注件数、就業延人数ともに増加傾向にあります。

シルバー人材センターでは、高齢者にふさわしい仕事を引き受け、会員の希望に沿った就業が可能になるように努めており、通常の受注業務に加え、「シルバーサポート隊」、「手作り工芸品販売事業」などの独自事業を実施しています。就業先や就業機会の拡大及び会員数の増加に向けた周知などが課題となっています。

市では、シルバー人材センターの活動に対する補助金交付を通じて、円滑な事業運営を図り、高齢者の生きがい事業に寄与しています。

○シルバー人材センター

高齢者に対して、臨時で短期の補助的な職種を紹介する公益法人として法的に位置づけられている団体で、就職の紹介だけでなく就職に必要な知識や技能の講習も実施しています。

○シルバーサポート隊

桐生市シルバー人材センターが実施している企画提案方式の事業です。

原則65歳以上の高齢者世帯や障害者世帯の電球交換や家具の移動などちょっとした困りごとを会員が対応します。10分以内100円／10分超え～30分以内500円／30分超え～60分以内1,000円

◆シルバー人材センター事業活動実績

項目	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
会員数(人)		552	560	518	499	507
受注件数(件)	請負	3,073	2,955	2,841	2,375	2,461
	派遣	65	69	73	83	80
就業延人数(人)	請負	38,602	34,111	27,533	25,845	27,954
	派遣	16,033	19,239	17,955	20,080	21,183

※令和2年度(2020)以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた実績となっています。

※各年度末時点

◆介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果より

地域活動（健康づくりや趣味等のグループ活動等）へ“参加者”として、参加する意向について約5割の人が前向きな回答をしています。

地域活動（健康づくりや趣味等のグループ活動等）へ“企画・運営、お世話役”として、参加する意向について約3割の人が前向きな回答をしています。

地域活動へとつなげる取組が求められています。

施策の方向

（1）高齢者ボランティアの活動促進

ボランティアセンターを運営する桐生市社会福祉協議会との連携を図りながら、高齢者が自発的に地域貢献活動等に参画できるしくみ、社会参加の場の充実を図ります。

また、介護予防サポーター養成研修修了者が、地域において自発的な活動を展開しやすい環境やしくみを整備し、サポーター自身の介護予防につながる支援を行います。

（2）シルバー人材センターの活動促進

桐生市シルバー人材センターでは、多様化する高齢者に就業機会の提供を行うことを通じて、高齢者の生きがいづくりや地域貢献を促進しています。

市では、シルバー人材センターの事業活動に対する補助金の交付など、引き続き同センターへの支援を行っていきます。